

尼崎市市制 100 周年記念

尼崎市私立幼稚園連合会
65 周年記念

●
尼崎の
子どもたちと
共に

～尼崎市私立幼稚園連合会加入園の教育・保育～

尼崎市私立幼稚園連合会



尼崎市私立幼稚園連合会 顧問
 尼崎市議会 議員
 からたち幼稚園 園長
 北村 保子 (きたむら やすこ)

時代の移り変わりが 激しい時代に：

尼崎市市制100周年という記念すべきこの年に尼崎市私立幼稚園連合会が65周年を迎えられ、また、65周年記念誌を発刊されますことを心からお慶び申し上げます。

皆様もご承知の通り私たちの私立幼稚園連合会は戦後から今日に至るまで、尼崎市における幼児教育の発展に多大なる貢献を続けて参りました。その功績は素晴らしいものであり、尼崎市市制100周年の歴史に輝かしい足跡を残しました。

さて、私も現在皆様と同じ私立幼稚園の園長をいたしておりますが、ここに至りましたのは、私の母であります小西ヨシ子が戦後間もない昭和29年に当時、尼崎市長であった阪本勝先生に「小西くん、私立の幼稚園を作ってくれないか？」と、頼まれたのが始まりでございます。若いころから幼稚園の先生にあこがれていた母は「わかりました。やらせていただきます」と、即答をしたそうです。そして、園名も阪本先生から命名していただき大物の地に設立するに至りました。園の設立に当たり母は浪速短期大学の夜間部に通い園長に就任し翌年には法人の資格も取りました。生前、この頃のことをよく懐かしそうに語っていました。

かつてと違い、今は時代の移り変わりが激しくなっています。きっと各園の先生方もこの激動の時代をかわいい園児たちのために必死の思いで幼児教育に全てを捧げられていると思います。ここ数年の間に制度も大きく変わりご多忙の日々だと存じますが未来を担う子どもたちの教育のため、若いお父さんお母さんとの信頼を深め、よりよい幼児教育にご尽力くださいますようお願い申し上げます。私も貴会の顧問といたしまして大変微力ではございますがその任務を果たすべく諸課題に取り組んで参る所存でございます。

むすびに、尼崎市私立幼稚園連合会の益々の発展と皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

北村 保子



尼崎市私立幼稚園連合会 会長
 認定こども園くいせようちえん 園長
 中西 利栄 (なかにし としえ)

尼崎市市制100周年 尼私幼65周年の節目に

尼崎市市制100周年に、尼崎市私立幼稚園の歴史をまとめることになりました。作成するにあたり『尼崎市戦後教育史』をひもときましたら、戦前より私立幼稚園が2園あったこと、昭和26年から昭和43年ごろ、幼稚園教育は私学に…という考えで、幼稚園が誕生したことが記載されていました。

また、昭和25年に連合会ができ、昭和30年に規約が作られたことなどもわかり、奇しくも創立65周年の記念誌ということになりました。

私が尼崎市私立幼稚園連合会の仲間に加えていただいたときから、研究会でたくさんの先生方にご指導をいただきました。今振り返っても、その内容は現在でも充分通じる大変有意義なものでした。すでに亡くなっておられ幼稚園も無くなった潮江幼稚園の野間先生、水堂幼稚園の上村先生、神崎製紙附属幼稚園の田中先生、八幡幼稚園の羽田先生、今もお元気でご指導くださる濱名弘子先生、私が今日あるのも先生方のおかげです。本当にありがとうございました。先生方が築いてくださった研究部は、これからもずっと続けていきます。

さて、平成27年度より新制度が始まり、幼稚園・保育所・認定こども園が乳幼児の教育・保育を行うようになりました。私立幼稚園は、その種類は違っても、先代の思いを引き継ぎ、後継者に伝えていく必要があると思います。ここに完成しました記念誌が、その役目を果たしてくれることを切に願います。

最後になりましたが、念願だった記念誌の完成を見ましたのは、多くの皆様方のおかげだと、心より感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。

中西利栄



尼崎市長
稲村 和美 (いなむら かずみ)

将来を担う子どもが
健全に育つために

尼崎市私立幼稚園連合会が創立65周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

貴会は、昭和25年に創立以来、本市の幼児教育に多大なるご尽力、ご協力いただいておりますことに厚く御礼申し上げます。ここに記念すべき65周年を迎えられましたことは、中西利栄会長をはじめ、会員並びに関係者の皆様方のご尽力の賜物であると深く敬意を表します。

現在、本市では、まちづくりの指針である総合計画において、「人が育ち、互いに支えあうまち」を将来のありたいまちの姿の一つとして掲げ、人の育ちと活動を支援するさまざまな取り組みを積極的に進めているところです。中でも、次世代育成支援の分野におきましては、将来を担う子どもたちが健やかに育ち、笑顔が輝くまちを目指し、子どもたちを地域全体で支えることによって、一人ひとりが大切にされ、健全に育つことができる環境を整えていくことが何より重要であると考えております。皆様方におかれましては、どうか今後とも、温かいご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、創立65周年を契機に、尼崎市私立幼稚園連合会がこれからも益々発展されますことと、会員並びに関係者の皆様方のご健勝とご活躍を祈念いたします。

稲村 和美



兵庫県知事
井戸 敏三 (いどとしぞう)

「ふるさと兵庫」の
実現を目指して

尼崎市私立幼稚園連合会が創立65周年を迎えられました。心からお祝いします。

皆様は、昭和25年の創立以来、教職員への研修や子育て支援事業の普及啓発活動などを通じて、本県の幼児教育の充実、発展に大きく貢献してこられました。歴代の会長をはじめ、関係の皆様のご尽力に改めて感謝します。

近年、核家族化が進むとともに、親子のきずなや地域のつながりが希薄化しています。幼児期は、人格形成の基礎を育む重要な時期だけに、地域や社会全体で子どもや家庭を見守り、支えていくことが大切です。

兵庫県では、子育て家庭と地域をつなぐ「まちの子育てひろば」や「子育て応援ネット」、私立幼稚園等と連携した「わくわく幼稚園」、「親子学級」、「乳幼児子育て応援事業」など、安心して子育てできる環境の整備に取り組んでいます。さらに今年度からは、「地域祖父母育成モデル事業」を創設し、子育てに携わりたいシニア世帯と子育て家庭が日頃から交流し、助け合える新たな仕組みづくりを推進しています。

こうした取り組みの推進には、私立幼稚園の皆様との連携が欠かせません。とりわけ、家庭や地域とともに多彩な活動を展開しておられる尼崎市私立幼稚園連合会の皆様には大きな期待を寄せています。子どもたちが夢を育み、健やかに成長できる「ふるさと兵庫」の実現を目指し、ともに力を合わせていきましょう。

尼崎市私立幼稚園連合会のますますのご発展と、関係の皆様のご健勝とご活躍を心からお祈りします。

井戸 敏三



兵庫県私立幼稚園協会 理事長
濱名 浩 (はまな ひろし)

今後も変わらぬ研鑽で 質の高い教育力を

尼崎市市制100周年を迎えるにあたり、尼崎市の私立幼稚園の歴史編纂の完成を心よりお慶び申し上げます。尼崎市の幼稚園には、ほぼ90年におよぶ歴史があります。大正5年に尼崎市が誕生して100年、その約10年後には、幼稚園が誕生しました。

戦後、地域の思いに応えた篤志家が設置された私立幼稚園が加わり、尼崎市の幼児教育の中心を担ってこられました。戦後長きにわたり、運営費等の補助制度もなく、保護者からの納付金の限られた資金での懸命な経営努力で質の高い幼稚園教育の運営をされ、同時に幼稚園教諭の育成と確保も大変であったと伝え聞いております。その後、高度経済成長期に入り、尼崎市は重化学工業の拡大とベビーブームによる2つの要因からの人口増にも応え多くの私立幼稚園園児を受け入れ、昭和の尼崎市の就学前教育を支えてこられました。

バブルがはじけ尼崎市にも不況の波が押し寄せた時代にも、保育料を上げることなく、さまざまな保護者の事情も汲み取り、預かり保育を先駆的に実施された幼稚園も多く、子育て支援も充実させて保護者や地域社会を支えてこられました。そして平成に入り、新しい施設の在り方として兵庫県版認定こども園にいち早く移行された園がありました。

私学助成園として充実される園と共に、平成27年度から始まった「子ども・子育て支援新制度」においては幼保連携型認定こども園への移行をはじめ、数々の園が尼崎市の施設型給付に入られ、新たな尼崎市の所管園としても就学前教育の中心的な役割を担っています。

幼稚園や幼保連携型認定こども園、幼稚園型認定こども園等は義務教育ではないものの、学校教育体系のスタートの教育プログラムを行う学校です。尼崎市の私立幼稚園はそれぞれの建学の精神に基づいた教育方針や内容を磨き、保護者や地域の皆さんとの信頼を築き、長年実践や実績を積み上げ、素晴らしい人材を輩出してまいりました。今後とも変わらぬ研鑽を重ね、質の高い教育力で尼崎市の就学前教育や子育て支援の拠点となり、未来の日本、兵庫県、尼崎市を担う人材を育成されることを切に祈念しております。



尼崎市教育長
徳田 耕造 (とくだ こうぞう)

一億総活躍社会の 現代において

このたび、尼崎市私立幼稚園連合会が創立65周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。また、これまでから本市の幼児教育に多大なご尽力、ご協力を賜りましたことに厚くお礼申し上げます。

さて、社会を取り巻く就労状況が大きな変革を迎え、一億総活躍社会と呼ばれる現代において、子育て支援への充実を図るべく、数々の取り組みがなされているところであります。

本市といたしましても総合計画を基に「まち・ひと・しごと」の分野に焦点を絞ったアクションプランとして、平成27年度から「尼崎版総合戦略」を策定し、持続可能なまちづくりを目指しております。その中でも、ファミリー世帯の定住・転入の促進について大きな一つの柱として積極的に取り組んでおり、マナーや治安、環境とともに「教育の充実」は必要不可欠な要素となっております。

その教育を幼児期から担っていただいております貴連合会におかれましては、今後とも地域・家庭・学校・行政との連携を密にし、本市全体の幼児教育の推進にご助力賜りたく存じます。

最後になりましたが、貴連合会の65周年を契機として、今後ますます発展されますことを祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。